

I. 活動成果及び今後の課題

(注) 各項目の記述には必要な分量のスペースを使ってください。

(1) 活動成果

今シーズンは、国内で開催された 2 つの大会に参加しました。コースのレイアウトや気象条件の変化に戸惑いながらも、全レースを完走し、次のシーズンに向けた良いスタートを切ることができました。特に、数年ぶりに 5km 以上のレースに連続参加し、10km レースでは、トップ選手たちとのタイム差が少なく、大きな自信に繋がりました。さらに、視覚障害がある若手選手や次世代のガイドスキーヤーとの共同トレーニングを通じ、互いの成長を実感することができました。

地元岩手では、オリンピックとパラリンピアンが協力して、視覚障害者向けのスキー体験会を開催することができました。健常者と障害者が共にスポーツを楽しむことの重要性を再確認し、地域社会への貢献ができたと確信しています。さらに、より多くの人々にクロスカントリースキーの魅力を伝えることもできました。

・2024 年 1 月 6 日 第 26 回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 1 日目 クラシカル 5km コンバインド 14 位

・2024 年 1 月 7 日 第 26 回全日本障害者クロスカントリースキー競技大会 2 日目 スケーティング 10km 立位 5 位

・2024 年 2 月 24 日 FIS パラノルディックスキージャパンカップ 長野大会 1 日目 クラシカル 1.25km オールコンバインド(男女混合・身体障害・知的障害) 予選敗退

・2024 年 2 月 25 日 FIS パラノルディックスキージャパンカップ 長野大会 2 日目 スケーティング 5km 立位(身体障害・知的障害) 9 位

(2) 今後の課題

トップ選手たちとの差を縮めるために、トレーニング方法の見直しと専属のガイドスキーヤーの存在が必要です。また、コースレイアウトや気象条件の変化に対する適応能力を強化することも、今後の大きな課題です。異なる環境での練習やシミュレーションを積極的に行い、様々なコンディションに対応できる力をつけたいと思います。今、息子がガイドスキーヤーをしてくれています。長野の大会ではスプリントレースでガイドデビューを果たしました。今後、私の専属のガイドスキーヤーとして活躍してくれることを期待しています。

社会貢献活動に関しては、特に視覚障害者向けのスキー体験会のようなイベントを拡充することが今後の目標です。また、クロスカントリースキーの普及活動を強化し、このスポーツの魅力をより広範囲に伝える方法も考えなければなりません。

資金面での支援は、活動の継続において重要です。今後もアンテナを高くし、助成金の確保をしたいと考えています。

貴団体のご支援に深く感謝するとともに、今後もさらなる成長と活動の拡大を目指し取り組んで参ります。結びに、この度のご支援に改めて感謝申し上げます。今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

II. 支出報告 (使途、数量等を具体的に摘要欄に記入して下さい)

費用	金額	摘要
(1) スキー用具購入費	79,200 円	フィッシャー FISCHER クロスカントリースキー ブーツ TURNAMIC スピードマックス クラシック SPEEDMAX CLASSIC S01422
	127,600 円	フィッシャー FISCHER クロスカントリースキー ブーツ TURNAMIC スピードマックス スケート SPEEDMAX SKATE S01022
		令和5年12月5日 株式会社富士スポーツ
(2) スキー用具購入費	108,570 円	フィッシャー クラシカル用スキー 1本 FISCHER SPEEDMAX 3D CLASSIC PLUS 812 soft NO8422 ビンディング付
		令和5年12月16日 株式会社ニッセンスポーツ
(3) 費		
(4) 費		
(5) その他		
合計		

※上記に記載された支出の事実が分かる領収証のコピーを添付してください。